サンポートエリアの
まちづくり
～今こそ連携へ～

サンポートエリアのまちづくり　　― エリアの現状 ―

H15
ビジネス拠点

単発的な
開発

R5～7
開発が集中

施設ごとの連携不足

→→　観光・交通の結節点としてポテンシャルを活かしきれていない

一体的なまちづくりが必要

従来の協議会形式から脱却し、今までにない合意形成の手法へ

課題

～エリアの特性～

課題 ▶ ビジョン ▶ すすめ方 ▶ 仕組み

―エリアの特性・課題―

特性

行政の土地　：　約4割
民間の土地　：　ほぼ開発済

課題

当事者
人の滞留　：　少ない
回遊性　　　低い

行政の土地が多いため、まちづくりの当事者が少ない

方向性

～求められるエリア像～

課題 ▶ 方向性 ▶ すすめ方 ▶ 仕組み

―共感できるビジョン―

エリアのあるべき姿

魅力を最大限に活かす

瀬戸内海　玉藻公園　交通結節点

思想

『持続性』

シビックプライド　の醸成

都市に対する市民の誇り

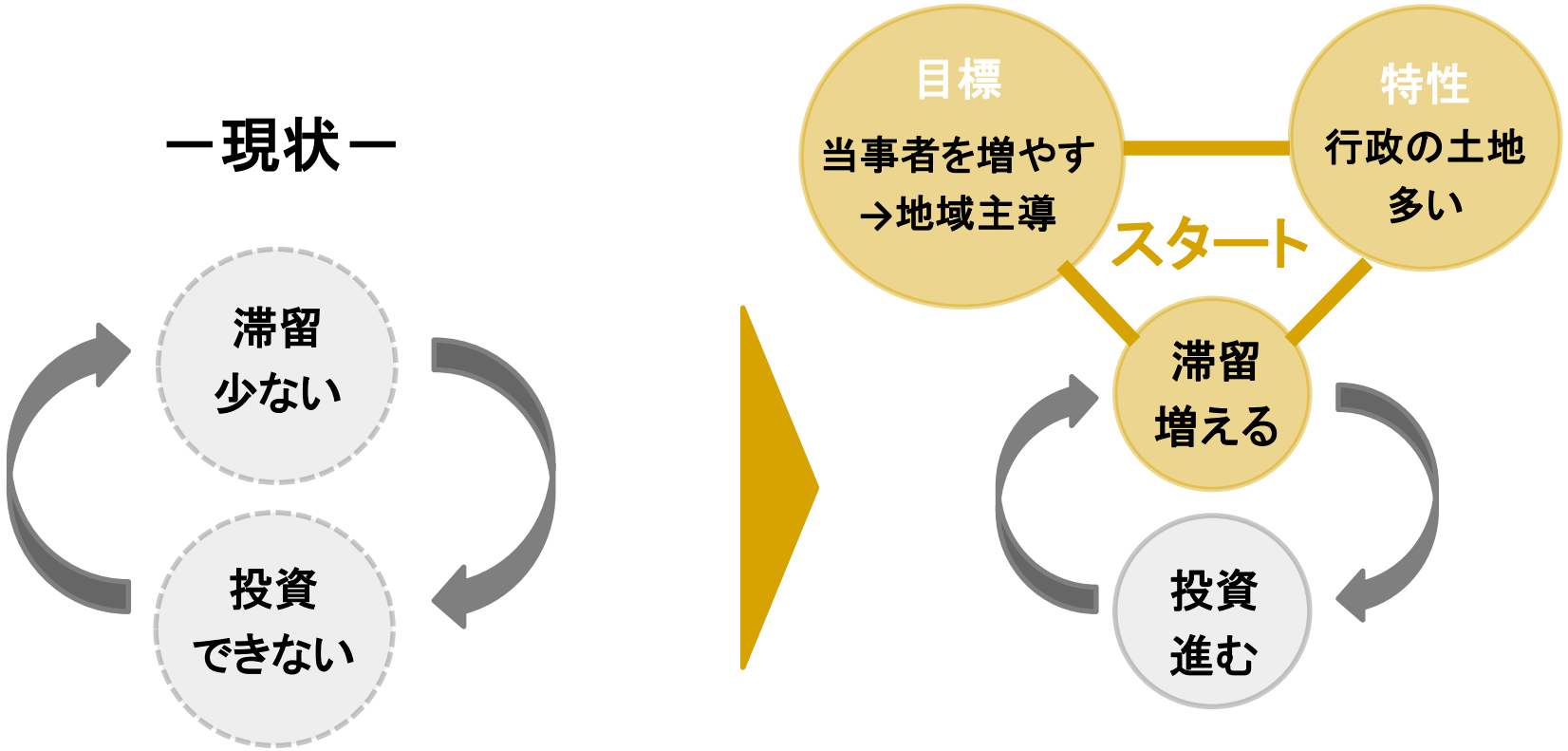
魅力に気付き、まちづくりの当事者が増える

すすめ方

～エリアの特性を踏まえて～

課題 ▶ 方向性 ▶ すすめ方 ▶ 仕組み

事業のスタート



まずは、行政の土地でソフト事業を展開し滞留性を向上

地域主導で出来る

仕組み

～「合意形成できない」課題を解決～

課題 ▶ 方向性 ▶ すすめ方 ▶ 仕組み

すすめる仕組み　ー課題ー

行政の土地

縦割りの権限で管理している土地を需要に応じて開放へ

エリアプラットフォーム

地域に根ざす継続的な取り組み ▶ マネジメントする組織が必要

未来ビジョン

共感できるビジョンを視覚的に共有する

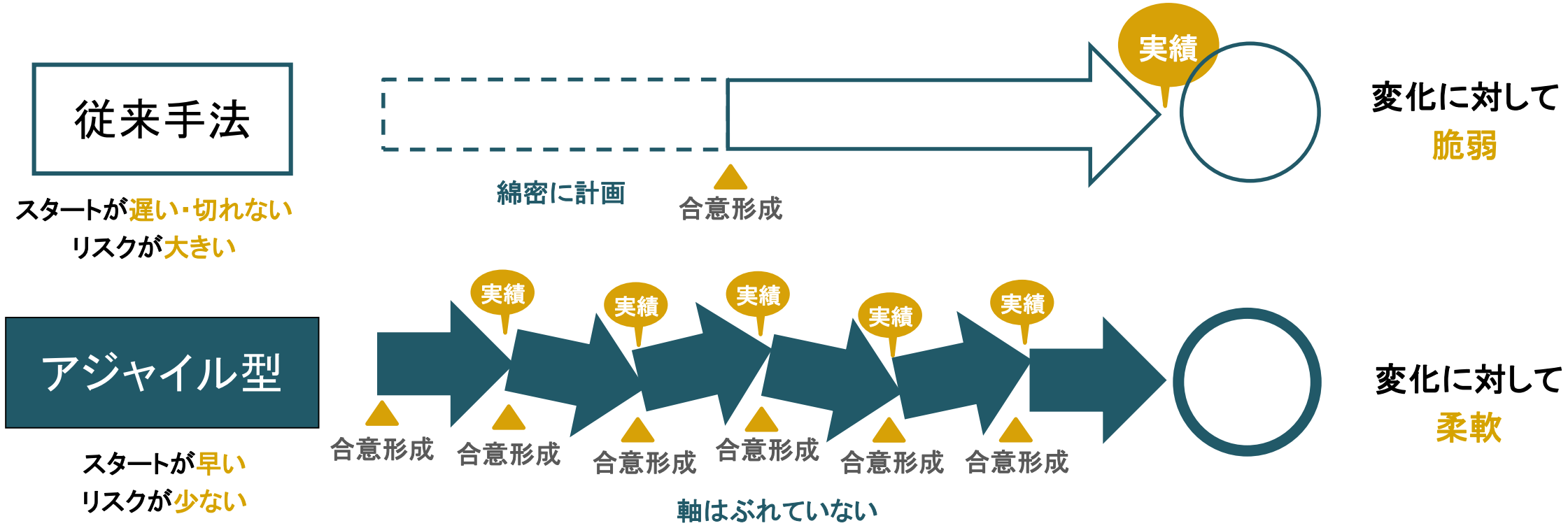
不確定な未来に対して合意形成が困難

一歩目を踏めなければ、これまでと同じ状況になってしまう

課題 ▶ 方向性 ▶ すすめ方 ▶ 仕組み

仕組み　－従来手法とアジャイル型※－

※アジャイル型：　仕様などの変更が当然あるという前提に立ち、小単位での「実装→テスト実行」を繰り返しながら徐々に開発を進めていく手法のこと



迅速に合意形成をおこない、変化に対して柔軟に対応

アジャイル型でないとスタート不可能

課題 ▶ 方向性 ▶ すすめ方 ▶ 仕組み

土地の開放　－アジャイル型－

市【可能な範囲】　市【適正な範囲】　国・県・市【エリア全体】

スモールスタート　規模拡大

小 → 事業を繰り返す → 大

適正な範囲を検討

法規制
安全性
管理負担

需要

管理者　事業者

開放のメリットを示す

管理負担軽減　↑

儲かる　↑

管理者　事業者

マネジメント権の開放へ

【所有】法規制

【管理】安全性

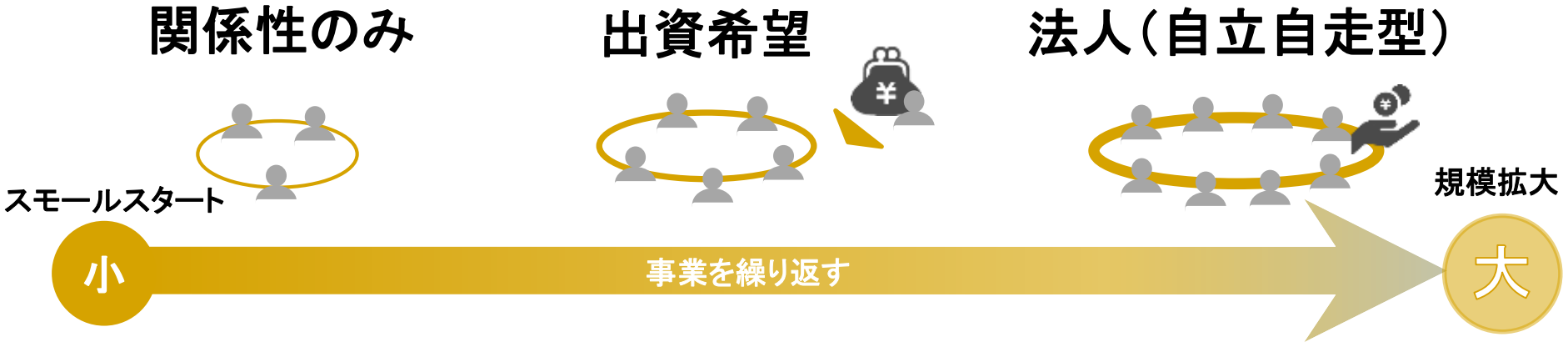
【儲かる】

管理者　事業者

サンポートエリアのまちづくり　－ 仕組み（エリアプラットフォーム）－

課題 ▶ 方向性 ▶ すすめ方 ▶ 仕組み

エリアプラットフォーム　－アジャイル型－



初期の運営費は出資なし

行政支援　~~行政主導~~

民間資金　~~特定の便益優先~~

まちづくりの方向性を示唆

＋

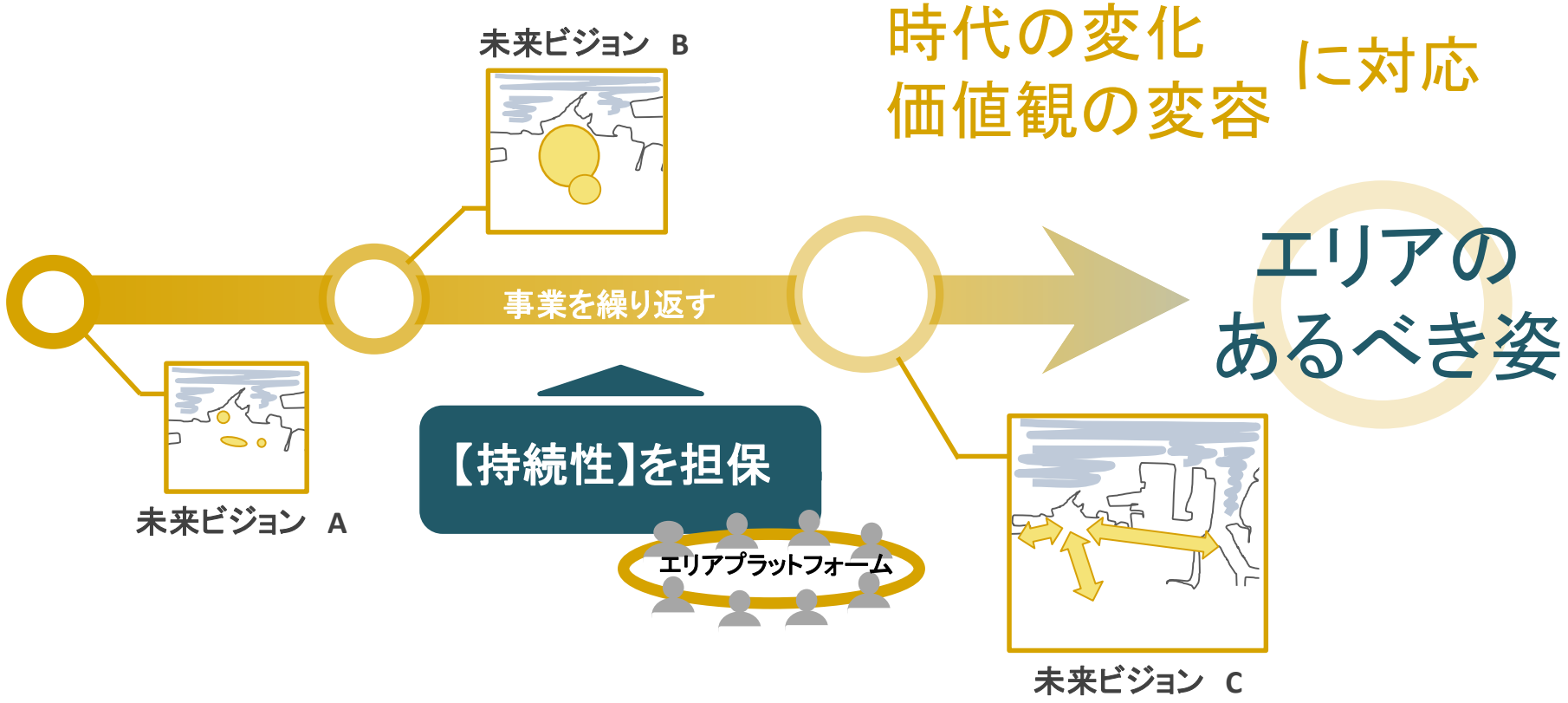
参画するメリットを示す

＝

適切な原資

課題 ▶ 方向性 ▶ すすめ方 ▶ 仕組み

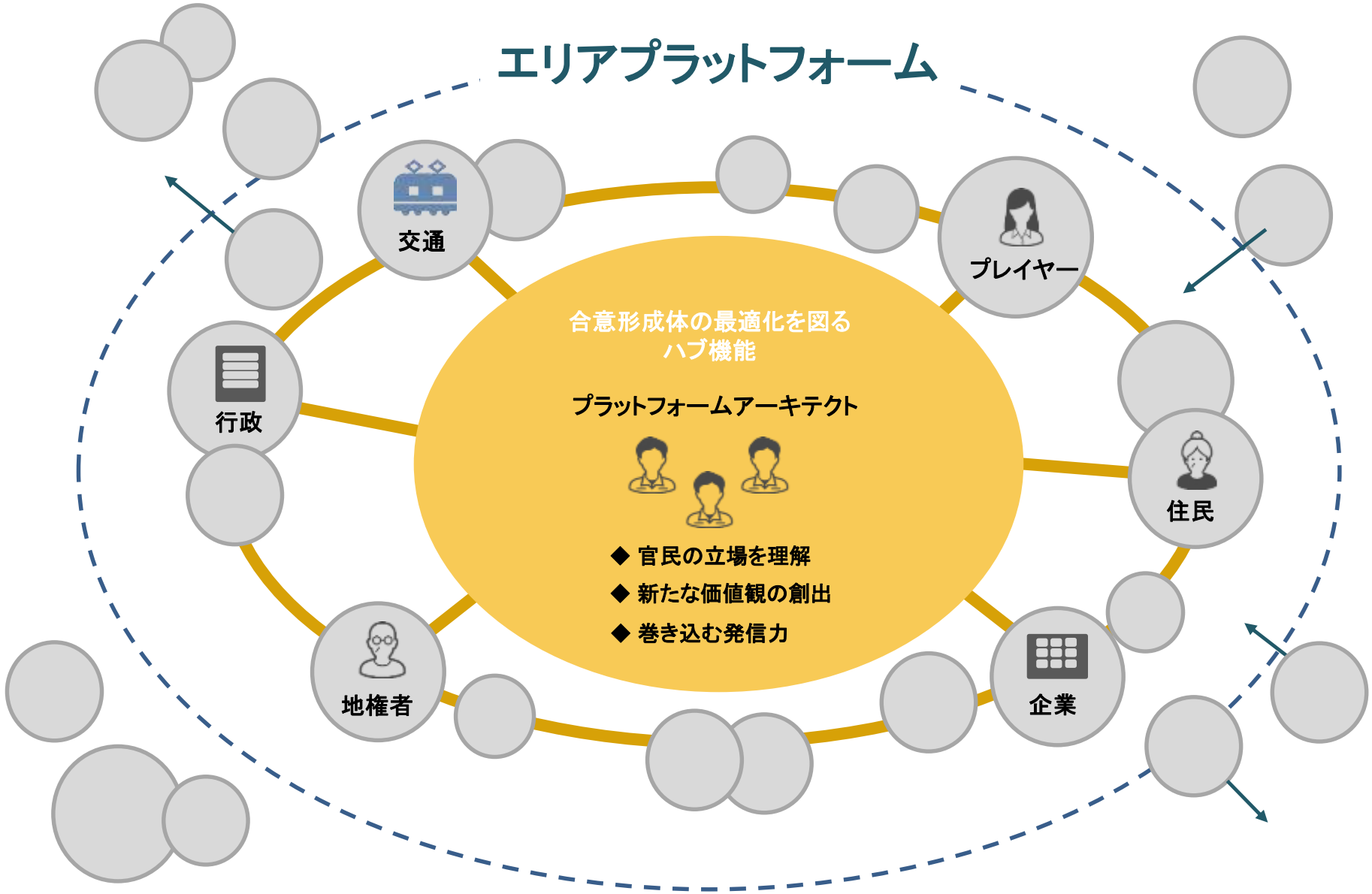
未来ビジョン　ーアジャイル型ー



エリアプラットフォームと共に　想像以上の未来へ

体制

～開かれたまちづくりに向けて～



意見の受け皿

サービス提供

情報発信

＜第一段＞
未来ビジョン

次項へ

現時点の未来ビジョン

～現在のエリアプラットフォームによる意見・要望～

未来ビジョン【短期】

サンポート多目的広場

・イベント開催
マルシェ・キッチンカー等

駅前広場（駅間連絡）

・イベント開催
マルシェ・キッチンカー等
・海を感じるツール
・各施設への誘導

玉藻公園西側

・イベント開催
・商店街との回遊性向上

シーフロントプロムナード

・周辺住民の憩いの空間（遊歩道）

バラ園周辺

・イベント開催

水城通り

・イベント開催

▶ 国道フェリー廃止により
車道需要の低減

玉藻公園

・イベント開催

▶ 史跡保全による制約

・文化財の活用
県産品売り場・飲食店

エリア全体

・MaaS （レンタサイクル）
→民有地活用推進
・瀬戸内海との一体感
・漁業との連携

▶ イベント開催における課題
・車両（搬入用）進入
・日差し・風対策
・熱源等の確保

ひと　もの　こと

が

あつまる エリア へ

未来ビジョン【中・長期】

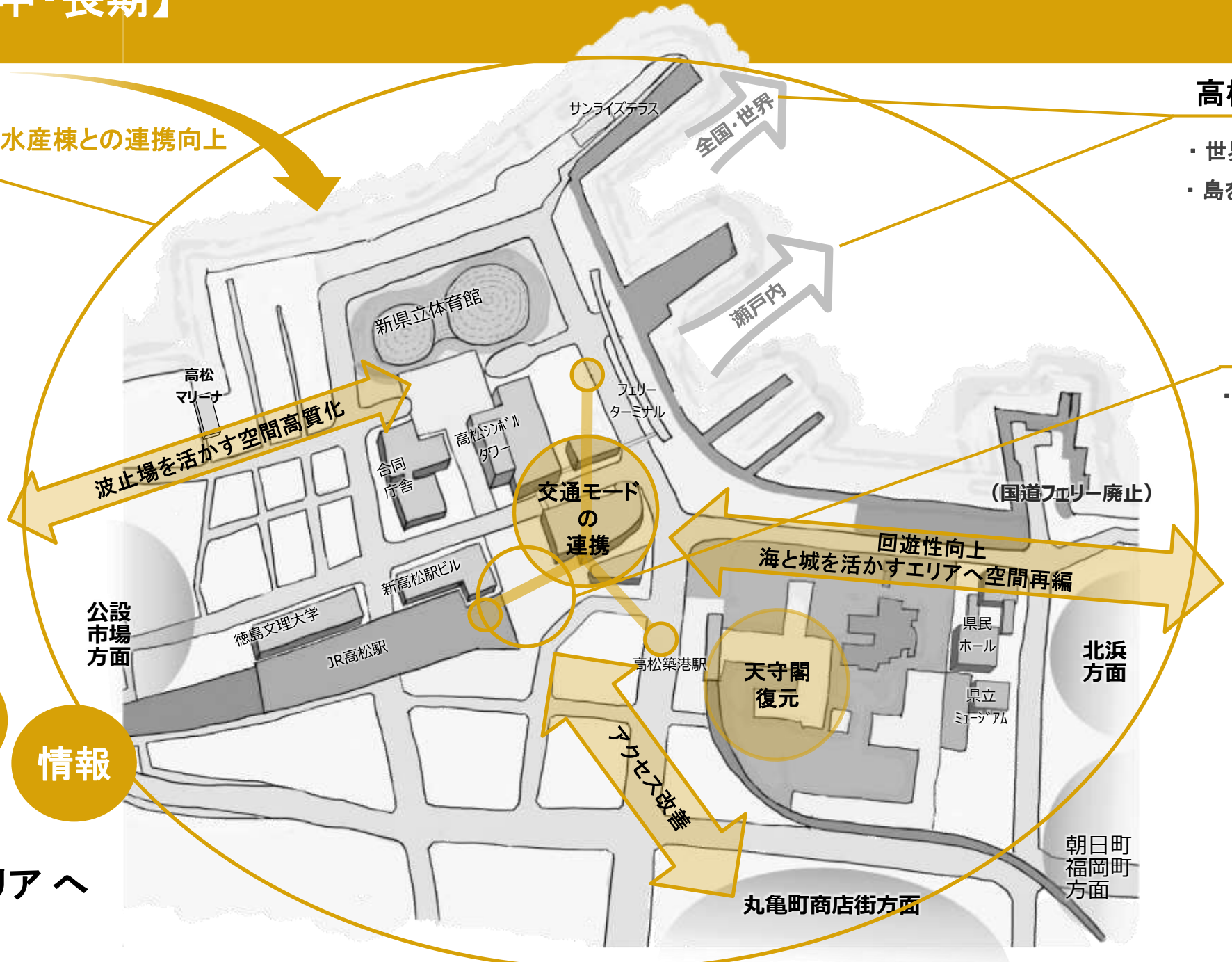
エリア全体

- 一体性
  - 道路・施設再編
- MaaS
  - 移動をパッケージ
- 窓口の一元化

◁ 意見の受け皿

▷ 情報発信
サービス提供

水産棟との連携向上



高松港

- 世界につながる港へ
- 島を身近に

駅前広場

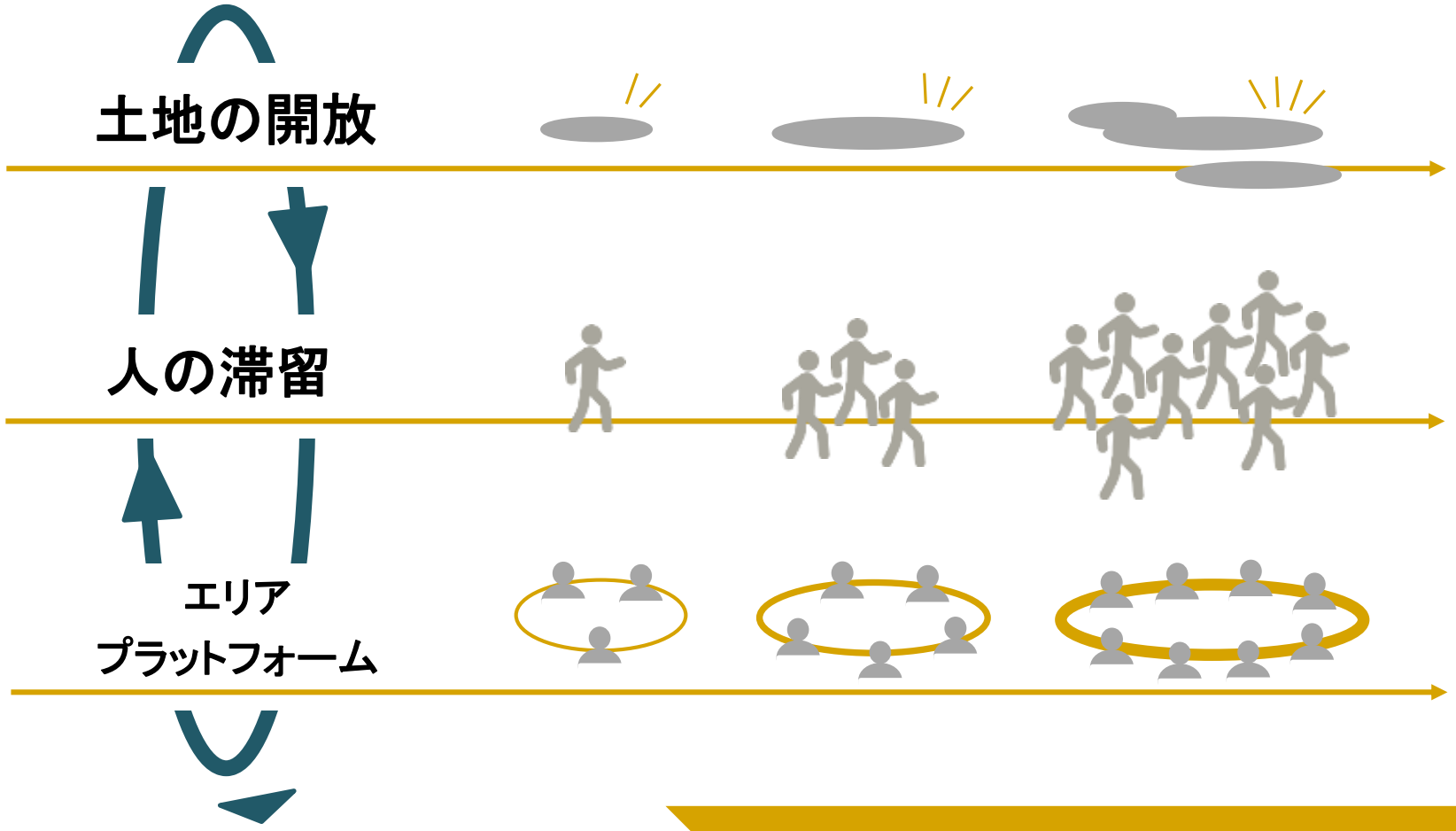
- 広場の再編
  - イベントしやすい設備
  - 海を感じるツール
  - 各施設への誘導

人 移動 情報

が

つながるエリア へ

持続性を目指して



“当事者”が増える

シビックプライドの醸成へ

Join us!

～一緒にまちをつくりましょう～